

ひかり

2015年9・10月号



日本聖公会 三光教会

第640号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX03(3781)2544

<http://nskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

神が結び合わせてくださったものを、
人は離してはならない。

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

(マルコ 10:9)

キリストの平和が あなたがたの心を

支配するようにしなさい。

(コロサイ 3:15)

司祭 グレース 神崎 和子

今年は終戦から70年目の年です。先の戦争に関する様々な礼拝や行事が執り行なわれました。テレビでも戦争に関するドラマやドキュメンタリーが放映されていました。

その様な年に私は長崎に行く機会が与えられました。長崎は先の大戦で広島と共に原爆が投下された町です。長崎の町は山に囲まれ、すり鉢の様な盆地です。そこに原爆が投下されたのです。米軍の爆撃機は北九州が視界不良のため第2目標の長崎に原爆を投下しました。原爆は、1945年8月6日11時2分、浦上の上空500mで炸裂し、一帯を焦土に変えたのです。特に浦上天主堂では堂内にいた2神父と信徒数十人が即死であったそうです。又浦上の信徒1万2千人の内、約8500人が死亡したとされています。

聖公会の長崎聖三一教会でも信徒約29名が命を奪われたそうです。私は今回の訪問で、特に浦上天主堂を訪れたと思っていました。それは「被爆のマリア像」に会いたかつ

たからです。約50年も前に修学旅行で訪れた時の強い印象が私の心に残っていました。その「被爆のマリア像」を、再建された礼拝堂の中で見つけました。もともとは2mほどの本像だったそうですが、爆風によつて右の頬は焼けただれて、頭部だけが瓦礫の中から発見されたそうです。頭部だけで、目も焼けて空洞になっているマリア像が、悲しげに首を少し傾けて、私たちを見下ろしているように思えます。

今もなお、世界各地で軍事的な対立やテロの悲劇が繰り返されている現状が私たちの周りに広がっています。対話を不可能と感じさせるような状況が世界に広がっています。それでもこの「被爆のマリア像」は「平和を実現する人は幸い」(マタイ 5:9)と空洞の目の奥から、私たちに訴えておられると感じました。「被爆のマリア像」に出会い「あなたの平和のために働かせてください」というアシジの聖フランシスの祈りを心から祈りました。

9月・10月の予定

◆9月

20日(日) 聖霊降臨後第17主日

21日(月) 福音記者使徒聖マタイ日

22日(火) 聖書の学び(旧約)

27日(日) 聖霊降臨後第18主日

29日(火) 聖ミカエルおよび諸天使の日

30日(水) 司祭教会博士ジェローム

◆10月

2日(金) 聖書の学び(旧約)

4日(日) 聖霊降臨後第19主日

5日(月) 10月逝去者記念聖餐式

6日(火) 聖書の学び(新約)

11日(日) 聖霊降臨後第20主日

13日(火) 聖書の学び(新約)

16日(金) 聖書の学び(旧約)

17日(土) 殉教者主教イグナシウス

18日(日) 聖霊降臨後第21主日

19日(月) 福音記者聖ルカ日

20日(火) 聖書の学び(新約)

25日(日) 聖霊降臨後第22主日

三光教会秋の大バザー

27日(火) 聖書の学び(旧約)

28日(水) 使徒聖シモン・使徒聖ユダ日

◆11月

1日(日) 諸聖徒日

2日(月) 諸魂日

11月逝去者記念聖餐式

8日(日) 三光教会創立記念日

婦人会だより

9月

9月20日 出席者36名

聖歌311番に続き、神崎司祭のお祈りの後、今回は「婦人会の働き」をテーマにお話を伺いました。

他の教会では婦人会は7〜8人、多い所でも15人くらいの会員ですが、ここ（三光教会）では多くの方が居られます。会を通して一緒に働ける場があることは力であり、また新しい方々にも場があるということとはありがたいことです。女性司祭として、女性の視点で聖書を読んで行く上にも皆さんと分かち合いの場が共有できる場でもあります。各々の計画もこの場があれば発信することも出来ます。

大変なことも多々あるかも知れませんが、いろいろの希望を発信する会であってほしいと思います。

(記・佐藤百合子)

男子会だより

9月

9月20日（日）午後1時頃から例会。14名出席。

秋バザーで男子会が担当する、焼き鳥、家具、書籍のやり方について打ち合わせました。

その後、午後2時頃から会館前で、ネパール震災支援のバーベキューを行いました。バザー用に新規購入した、炭焼きレンジの試運転になりました。

(記・伊藤和彦)

ネパール支援バーベキュー

男子会主催で9月20日（日）午後2時から、ネパール震災支援の為にチャリティー・バーベキューを行いました。

現地では震災で大被害が出た上に、いまだに交通が途絶している、救援もままならないところがたくさんあるようです。現地の状況を思い、語らいながらのバーベキューになりました。男女20名の方がご参加くださり、31,156円の募金が集まりました。皆様に感謝です。

(記・伊藤和彦)

◆三光教会

中高生・夏のプログラムに参加して

戦争をしてはならない

白石直史

僕は8月16日、三光教会の中高生プログラムに参加しました。

僕が印象に残ったのは、戦争を経験された方（編集部注・佐藤百合子さん）のお話です。

その方は自分とほぼ同じくらいの年に戦争を経験されています。今までテレビなんかで原爆を受けた方や、特攻で生き残った人などの話を聞いたことはありませんが、東京に住んでいて、女子校ではあるけれど同じミッシェンスクールに通っている人の話は聞いたことがなかったもので、何かとても新鮮でした。

僕は今13才です。あの時はあと4・5年で戦争に行っていたと考えると本当に怖いんです。戦争は例え勝ったとしても悲しむ人は大勢いて、苦しむ人も沢山います。だから何があろうと戦争はしてはならない



中高生の語り合いが深まるひととき。

いと改めて感じました。本当にありがとうございました。

夏の中高生会に参加して

穂積香泉

今回の夏の中高生会は「平和を考える」というテーマでした。聖餐式の後、買い出しに行き、たこ焼きの材料を買いに行きました。その後、佐藤百合子さんに戦争のお話を伺いました。そこではテレビなどとは違う生の声が聞けて良かったです。また、テレビなどでは聞けない戦争中に中高生だった人の体験が聞けて、とても良い経験となりました。その後、お楽しみとしてたこ焼きとホットケーキを作って食べました。たこ焼きを作るのがとても難しかったです、とても美味しかったです。

とても良い夏の思い出となりました。

クワイヤーメンバー募集

歌で奉仕しようと言うお気持ちのある方の参加をお待ちしています。特に男性パートの方のご参加をお願いいたします。

《練習》…毎週日曜日 9時30分〜

ウィークデイレッスン 月1回19時〜

《連絡先》三光教会クワイヤー 斎藤 大川

教区の中高校生キャンプに参加して

永井智子

8月20～23日に教区中高校生キャンプに参加した。「大事なものでなんすかね」というテーマで行なわれた。

4日間の内のほとんどが雨で、屋内での活動だったが、3日目は一時的に雨が止み、キャンプファイヤーと花火を楽しむことができた。

キャンプの後半は最終日に捧げられる聖餐式の準備をした。サーバ―、奏楽、オルター、代祷に分かれた。各々で代祷を考え、聖歌を選び、パンをこねてブドウを絞った。自分たちで作り上げた聖餐式は充実し、達成感があった。

私は今年が参加者として最後のキャンプだった。来年以降もスタッフとして参加したいと思う。



秋の大バザー

10月25日(日)、午前11時30分から秋の大バザーを開催します。

ワクワクする商品や、おいしい食べ物や、子どもが遊べるゲームもあります。

たくさんの方のご来場をお待ちしています。

☆ ☆

■男子会の旅行

横浜山手洋館と教会巡り



2015年6月6日

(撮影・安次嶺泉さん)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式